

**授業概要**

心理学を科学的に追求するための多様な研究方法を紹介する。具体的には、実験法、質問紙法、面接法、観察法等を扱う。また、心理学の研究の特徴や手続き、方法、限界、研究倫理に関して説明する。各々の研究法について理解を深められるよう、簡単な実習を行いながら講義する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	科学性、実証性とは何か
第 3 回	問題の設定
第 4 回	文献のレビュー・仮説の構成
第 5 回	心理学研究の概要
第 6 回	心理学研究と統計
第 7 回	研究倫理の基礎
第 8 回	質問紙法の概要
第 9 回	質問紙法の実際
第 10 回	実験法の概要
第 11 回	実験法の実際
第 12 回	面接法の概要
第 13 回	面接法の実際
第 14 回	観察法の概要
第 15 回	観察法の記録方法
第 16 回	筆記試験の実施

**到達目標**

- ・ 科学的な研究方法とは何かを説明できる。
- ・ 各々の研究法について長所と限界点を理解できる。

**履修上の注意**

- ・ 本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- ・ 毎回、講義に課題レポートの提出を求めるので、積極的に参加すること。

**予習・復習**

- ・ 予習として講義内容に含まれるキーワードについて調べること。
- ・ 復習として「心理学実験」や「卒業論文」にどう役立てられるか、イメージすること。

**評価方法**

試験の結果 70%、毎回の授業課題 30%を総合した上で評価を行う。

**テキスト**

特に指定しません。

講義は配布資料に基づいて進めます。参考図書は講義内で紹介します。